



人財マネジメントに関するポリシー

新日本科学では、企業理念である「環境・生命・人材を大切にする会社であり続ける」を礎に、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」を達成する社会の実現へ貢献することを目指しています。そして、その取組みの根幹を成す最も大切なものは「人財」、すなわち当社役職員であり、各自がより一層生き活きと輝きながら、個々に成長できる企業となることが必須であると考えています。本ポリシーは、新日本科学における人財マネジメントの方針を示したものです。

1. 新日本科学は、多様性、人格、個性を尊重し、公平な能力開発・能力発揮の機会提供に努めます。また、個人の實力、責任、創出した成果を公正に評価し、適正に処遇します。
2. 新日本科学は、当社の一員として希求される行動規範『新日本科学コンプライアンス行動指針』およびその指針を具現化する各種社内規程等ならびに各自の高い倫理観に基づき、当社役職員が自己研鑽と自律的成長の実現に努めることを推奨するとともに、その取り組みをサポートします。
3. 新日本科学における多様性（ダイバーシティ (diversity)）とは、人種、宗教、障がい、性別、年齢等だけでなく、信念、価値観、身体的差異、民族性、経験等の目に見えにくい要素をも含んだ多様性であり、個々が二人称、三人称の視点を持って互いを尊重し、相互に理解すること（インクルージョン (inclusion)）を意味します。それぞれの強みを活かし、弱みを補完でき、感謝・尊重し合う組織を構築することで、継続的なイノベーション創出につながり、持続性ある経営を推進し、社会に対する責任を果たすと考えます。
4. 新日本科学では、性別、年齢、学歴、財産、人種、民族、言語、国籍、出身地、容姿、身体・知的機能のハンデキャップ、性的指向・性自認、宗教・政治的信念、思想信条等の理由による差別、および同理由による精神的、肉体的、性的等あらゆるハラスメント行為を禁じ、かかる差別やハラスメントの禁止について役職員に周知徹底しています。当社役職員は、相手の人格を尊重し、相互理解および一致協力するよう努めます。
5. 新日本科学は、当社役職員や取引先などのステークホルダーにとって安全かつ衛生的な職場環境づくりに努め、関連する法令等に準拠した研修や教育の機会を提供します。また、当社は、安全で働きやすい環境を提供し、役職員の健康を維持・増進できる職場環境づくりに努め、また、当社役職員は、自分の健康は自分で守るという自覚を持ち、健康の維持・管理に努めます。

以 上

2021年10月 制定